



事業概要

大牟田リビングラボ×学び

（認知症ケアの知見を生かした共創するサービス開発）

先駆的でクリエイティブな認知症ケアを展開する福岡県大牟田市に立ち上げた「地域密着型リビングラボ」のプロセスやワークシートを活用し、サービス開発・人材研修プログラムを開発、提供します。

具体的には、企業において新規事業開発やサービス開発、それに関連するリサーチ等を担う社員に対し、リビングラボを活用したサービス開発の実践を通じて、大牟田が培ってきたMarketing4.0を超える全く新しい人間観（パーソンセンタード）、コミュニケーション、アプローチを学ぶ機会を提供します。

進捗状況と今後の展望

- 企業の受け入れ
 - 15社に研修説明・企業訪問を開始し、うち7社（プラス数社）が研修参加意向を示し、順次参加同意書の締結、事前情報共有などを実施し、研修受け入れの準備を進めている。
- プログラム全体設計
 - サービス開発の協働を案件として進めることを想定し、3つのフェーズからなるプログラムの内容や構成について検討、ブラッシュアップ。
 - 特に、1stフェーズにおける研修内容の詳細設計を進めている。
- プログラム実施に向けた準備
 - 地域関係者との調整：協働している大牟田市役所の関係者、地域で活動するソーシャルワーカーと実施に向けた意識合わせと論点整理を行い、プログラムの設計に反映させた。
 - 評価指標については、GROW360の導入準備のほか、大牟田LL独自指標の構築と、アセスメントシートの作成に着手した。
- **プログラムの実施**
 - 11月より、順次受け入れ開始。
- 企業ネットワークの設計
 - Future Center Alliance Japanなど既存コンソーシアムとの連携可能性について協議。11月もしくは12月にイベント登壇予定。
- オウンドWEBメディア設計
 - WEB制作会社と協議し、仕様を検討中。



参考①) 大牟田リビングラボ (NPO法人ドットファイブトーカー)

研修全体の設計

研修全体のフローの見直しおよび、各フェーズで必要なドキュメントの整理を行った。

